

今年のお盆のお参り期間も本当に暑い日が多かったですね。その暑さで体調を崩された方、そしてそうでなかった方も、今しばらく、お体にはくれぐれもご自愛いただければと思います。さてそのお参り中の話題に、

『ペットが亡くなり火葬はすませたのですが、  
そのお骨の埋葬先をどうしようか悩んでいます。』

というものが多くありました。  
以前にも一度この寺報でご紹介させていただいたのですが、当寺院にはペット合同墓が境内にございます。実は平成 22 年にお寺を建立した当時からあるのですが、私の努力不足もあり、なかなか周知がなされてきませんでした。

と言う訳で、上記のような方はぜひお寺のペット墓の納骨をお勧めします。なぜなら境内にあるのですから、いずれ檀家さんである皆さんはお寺にお祀りされることになり、亡くなったペットと同じところに眠ることにもなるからです。

私自身も子供の頃から 25 才の時まで飼っていた猫と、同じように 35 才まで飼っていた犬二匹の遺髪をずっと持っていましたので、ペット墓を建立した際に納めさせていただきました。



ご希望の方がおられましたら、まずはお寺にご連絡いただければと思います。お寺でご回向をお勤めした後、納骨させていただきます。またその他、ペット供養や葬儀に関してのご質問等ございましたら、遠慮なくお問い合わせ下さい。

- 納骨・ご回向布施：3 万円



いつまでも  
家族の近くがいいな...

## 〔ペット供養の意義〕

時宗は浄土宗から分派した宗派ですが、その浄土宗の法然上人は、「死後、周囲が回向すれば『順次往生』できる（意識：遺った者が念仏を唱えることで、亡くなった方の極楽往生を手助けすることができる）」と説かれています。

そこから、「犬や猫などの動物は、その身のままでは念仏を唱えることができないので極楽に行くことはできませんが、つまり遺された人間が救ってくださいと念仏をお唱えすれば、人間と同様に動物も極楽浄土に行ける。」という見解があります。時宗の公式見解は今のところ出されてはいませんが、普照院住職の立場として上記の考え方を持っており、そのため動物の供養も人間と同様に、必要で大切なことであると思っています。

## 住職から檀信徒の皆様へのお願い

私が当寺院の住職に着任してから、早や12年という月日が経ちました。おかげ様でお寺の諸事は順調に進み、檀家離れが進んでいると言われる現代において、当寺院はお檀家さんも少しずつではありますが増加しています。

そのような中、着任当時小学2年と幼稚園の年長だった娘たちも、今は大学2年と高校3年になり、本堂移転時に生まれた息子も小学4年生となりました。皆、無事健康に生活させていただいており、普段の皆様からのご助力に感謝申し上げます。

さて、その娘たちが後数年で社会に出ようとする中、我が家において現状その子供たちの学費がなかなかの負担となりつつあります。そのため私自身がいわゆるアルバイトに出ることにし、普段は大黒（住職の妻）がお寺の留守をあずかることにしました。

もちろんお盆やお彼岸期間は、そのアルバイトも休みをいただく予定にしていますが、特に普段の月参りや法事に関して、これまでよりそのスケジュール調整をうまく合わせる事が難しくなってくると予想されます。

娘たちが社会に出て、息子の学業が落ち着けばアルバイトも不要になると思いますので、しばらく数年の間、法要等の日程調整にご協力いただきますよう皆様のご協力を切にお願いしたく宜しくお願い申し上げます。



**当寺院の本堂での葬儀は、この不動心が届く檀信徒様からのご紹介であれば、どなた様でもご利用していただくことができます。**

\* 本堂の使用料は、無料です。詳細はご遠慮なくお問合せ下さい。

**二祖真教上人七百年御遠忌 平成31(2019)年**

〔編集後記〕 前回の不動心でご紹介させていただいた、普照院の檀家さんでもある「やなぎみわ」さんが演出される野外劇のパフレットを今回同封させていただきました。この野外劇では私たちのお寺の宗派・時宗（じしゅう）の一遍上人とその踊り念仏をアレンジしていただけるそうです。是非お時間のある方は、足をお運び下さればと思います。また今春よりお願いさせていただいております本堂壁面補修のご寄付は、順調に皆様のたくさんの温かいお気持ちをいただいております。感謝の念に堪えません。今後も何卒宜しくお願い申し上げます。 合掌

発行；[時宗 慈光山 普照院] 責任者 小田義宗

☎652-0853 神戸市兵庫区今出在家町4-1-29

電話 078-671-1787 ファックス 078-330-1187

ホームページ <http://fusyojin.com/>



これからは、お寺もどんどん情報を発信します。

とくに次世代をになう、若い方々・お子様たちに教えてあげてください。